

第6学年3組 算数科学習指導案

場所 6年3組教室 指導者


1 単元 図形の拡大と縮小 (本時9/10)

2 本時の目標と授業後になりたい「みちガエル」の姿

< 目 標 >縮図を利用して、直接測定できない2点間の距離の求め方を考えることができる。  
(思考・判断・表現)

<みちガエル>縮尺を利用して、実際の長さの求め方をペアに説明できる姿。

3 展開

段階	子供の活動	教師支援 (㊟主体的に学び続ける手立て ㊞個に応じた指導)
つかむ (3)	1 前時の学習を振り返る。 2 問題意識を持つ。	・前時までに学習した拡大図、縮図の性質など、本時に直結する使えるものを確認する。 ・緑丘学区の地図を提示し、今まで学習したことを生かして、どんなことができるかを問う。
見通す (2)	3 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">緑丘小から竜南中までの距離を求めたい。</div>	㊟ 「どんな課題にしたいですか。」
	4 なりたい「みちガエル」姿と見通しをもつ。  <u>距離の求め方をペアに説明できる。</u> ・見通し ・地図上での長さを測ってみる。 ・実際は何倍なのか分かれば求められそう。	㊟ 「何ができたらみちガエルかな。」 ・「これまでの勉強で使いそうなことは何。」 ・見通しがもてるように前時までに学習した拡大図や縮図の性質を想起させた上で、今回は何が使いそうかを問う。
深める (30)	5 ひとりで「まち・かんガエル」タイム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">①緑丘小と竜南中を直線で結ぶ。 ②直線の長さを測り、長さを書き込む。 ③地図の写真を撮り、スクールタクトに貼り付ける。 ④距離の求め方をスクールタクトにまとめる。</div> ・長さを測ったら、6cmだった。 ・実際の距離は、地図上の長さの10000倍の拡大図だから、 $6 \times 10000 = 60000\text{cm}$ 。 ・60000cmはmに直した方が分かりやすいな。	・「今からひとりでまち・かんガエルタイムです。」 ・地図(縮尺10000分の1)を配付する。 ・地図上に直線を引いたり、長さを書き込んだりしても良いことを助言する。 ㊞ 机間指導で、困っている児童には、スクールタクトで友達の考え方を閲覧しても良いと声掛けをする。
	6 みんなで「まち・かんガエル」タイム (1) 答えを発表する。 ・600m (2) なぜ600mになるのか説明する。 ・ $6 \times 10000 = 60000\text{cm}$ 。10000cm=100mだから、 $60000\text{cm} = 600\text{m}$ 。 ・比を使うと、地図：実際=1：10000だから、 $1 : 10000 = 6 : x$ 。 $x = 60000\text{cm} = 600\text{m}$ (3) 縮尺を知る。 ・10000分の1のように、縮めた割合のことを縮尺という。 (4) スクールタクトにまとめを書く。 (5) 練習問題についてペアで説明し合う。 ・緑丘小から美合駅までの距離を求める。 ・地図上の長さは9cm。 ・実際の距離は $9 \times 10000 = 90000\text{cm} = 900\text{m}$ 。	・「今からみんなでまち・かんガエルタイムです。」 ・スクールタクトを共同閲覧モードに設定し、児童が説明するときは、その児童のページを開きながら聞くように促す。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><b>&lt;授業の山場&gt;</b> 縮尺が25000分の1だったら実際の距離の求め方はどうなるのかを考える。 →同じように「地図上の長さ×25000」で求めることができる。</div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><b>&lt;まとめ&gt;</b> 実際に長さを測れないときでも、縮図を利用して縮尺が分かれば、距離を求めることができる。</div>
振り返る (10)	7 <ふりかえりタイム> (1) 「みちガエル」になれたかを自己評価する。 (2) 本時で学んだことや思ったこと、次がんばりたいことを書く。 (3) ペアで振り返りを伝え合う。 (4) 振り返りを発表する。	㊞ うまく書けない児童には、まとめの言葉を使って書くとよいことを助言する。 ㊟ ペアの評価と自分の出来栄を合わせて「みちガエル」になれたかを決めさせる。 ㊟ 学習の流れを確認させ、次がんばりたいことを考えさせる。